

病院広報誌

わ げ ん あ い ご

# 和顔愛語

医療法人 真生会  
真生会富山病院  
SHINSEIKAI TOYAMA HOSPITAL

2016  
vol,22

特集

## 緩和ケア内科・日帰り治療室リニューアル

- 💡 渉外課の中国訪問記
- 💡 糖尿病診療をチームでサポートします！
- 💡 平成 28 年外来待ち時間調査の結果
- 💡 一度は行きたい！ 地元のお店 スパイス&カレー Ga | O (ガロ)





# 緩和ケア内科・日帰り治療室

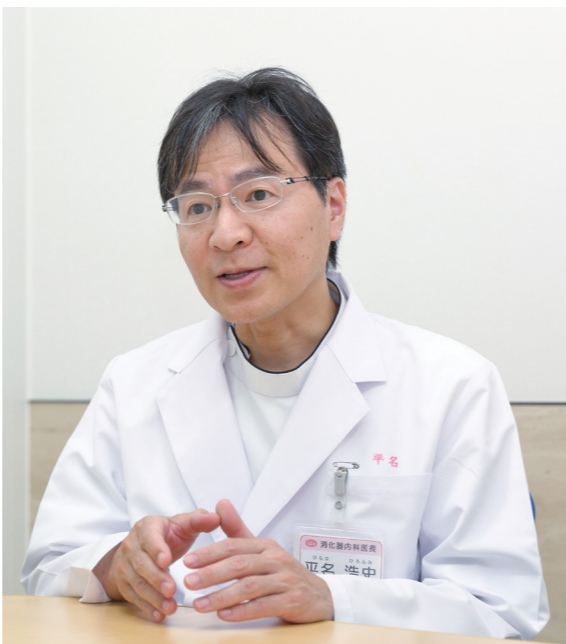
## リニューアル



かわい ざとる  
河相 寛 医師  
(緩和ケア内科 部長)



ながひさ えいこ  
長久 栄子 緩和ケア認定看護師  
(緩和ケア内科 副科長)



ひらな ひろふみ  
平名 浩史 医師  
(日帰り治療室 医長)

## (治療) とケアのために

## 良質なキュア

平成28年6月下旬、緩和ケア内科と日帰り治療室が管理棟1階に移転し、より充実した環境で治療とケアを行えるようになりました。これまでの本館2階から、総合受付に近い管理棟1階へ移ったことで動線が短くなり、患者さんに喜ばれています。移転後の緩和ケア内科には、診察室、点滴室、事務室が完備されています。

緩和ケア内科では、生命を脅かす病気（癌など）の患者さんとその家族の、心身の苦痛などさまざまな苦しみや気がかりなことに専門の医師、看護師、薬剤師などが対応しています。

日帰り治療室では、外来患者さんの抗がん剤治療および、関節リウマチ、潰瘍性大腸炎、クローン病などの生物学的製剤による治療を行っています。平成21年の開設時と比べて、現在は利用される方が2〜3倍に増えました。緩和ケア内科と日帰り治療室が同じフロア

■河相 寛 医師  
もともと消化器内科外来のあった管理棟1階のスペースに、7年ぶりに緩和ケア医として戻ってきました。感染症などの外来患者と離れたエリアで、窓のある明るく静かな診療環境が整備されました。看護師、薬剤師と連携し、心身のサポートを行っています。今の症状が、原疾患によるものか、治療の副作用なのか、他の病気が隠れていないか、時間をかけて丁寧に診察いたします。どんな気がかりなことでも、話しやすい雰囲気づくりに心がけ、揺れ動く患者と家族を、治療とケアの合同チームで支えてゆきます。

外科の化学療法で利用される方が増えてきています。緩和ケア認定看護師として、さまざまな場面で患者さんやご家族をサポートいたします。



患者さんやご家族のお話をじっくり伺う専用の面談室も完備されました

医学生・研修医対象  
緩和ケアセミナー  
開催

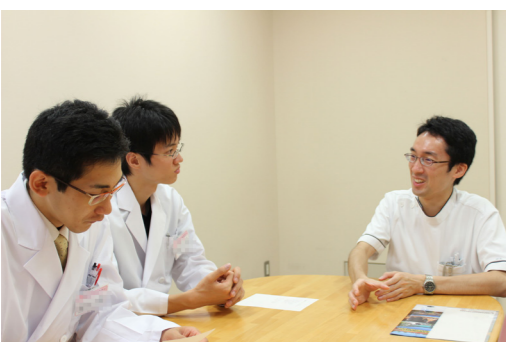
8月18、19日の2日間、緩和ケアセミナーを開催しました。今回の参加者は、医学部に通うNさん（5年生）と、Sさん（4年生）の2名でした。緩和ケア内科の外来見学や有料老人ホームほかへの往診に同行するなど、医療現場で緩和ケアを体験。また職員対象の対人援助セミナーにも参加しました。対人援助セミナーの講師は、NPO法人対人援助・スピリチュアルケア研究会の理事長を務める村田久行先生です。村田先生は傾聴ボランティアの創始者であり、日本におけるスピリチュアルケア

の第一人者です。

二日間の研修を終えた参加者の感想を紹介します。

「患者さんに寄り添う・傾聴するということの具体的な方法について、反復する、ちよつと待つという方法があると知りました。今まで習う機会がなかったので参加できてよかったです」（医学部4年生 Sさん）

企画担当の波部孝弘医師は、「がん患者・高齢者の増加により多死社会を迎えた医療現場で、治療困難な患者の苦しみとは何か、そして治療の限界を超えてできるケアとは何かを自撃し、緩和ケアの意味を体験してもらえたと思います。情熱あふれる若人を今後も応援してゆきます」と話しています。



参加者と研修を振り返る波部医師（写真右端）

■平名 浩史 医師  
拡張によりベッドの間隔も広くなり、車椅子でもスムーズにベッドに移ってもらうことができるようになり、皆さんに好評です。しかも、緩和ケア外来と共有したエリアであるため、よりきめ細やかなケアも提供できるようになりました。これから、ますます皆さんの喜びの声を聞けるものと期待しています。

■長久 栄子 緩和ケア認定看護師  
平成21年の開設時は、週に2日のみ日帰り治療室をご利用いただいていた。その後、がん治療だけでなく自己免疫疾患や潰瘍性大腸炎などの治療、皮膚科や整形



# 渉外課の中国訪問記

平成28年7月29日から8月4日までの1週間、アイセンターの館センター長と渉外課のスタッフ2名が中国に行ってきました。平成26年から本格的に始まった中国との医療交流。その間、新設された部署が渉外課です。現在、中村哲二課長と宮下麗娜さんの2名が所属しています。宮下さんは中国出身で、館センター長の中国出張時の通訳や、中国の医師が当院で研



第四回国際眼科新技術大会で講演する館センター長

修する際のサポートを行っていません。今回が4回目の中国訪問となった中村課長に「中国訪問記」を語ってもらいました。

「你好（ニーハオ）！ご存じの方も多いと思いますが、中国語で『こんにちは』という意味です。私が初めて中国を訪れたのは、平成26年8月のことでした。真鍋院長、館センター長とともに、瀋陽市の第四人民医院を訪問しました。初めて見学した中国の病院は、『まるで東京のデパ地下!』と思うくらい患者さんであふれていて衝撃を受けたことを今も鮮明に覚えています。

今回の訪問では、館センター長が第四回国際眼科新技術大会（瀋陽市）において講演し、大連市内のホテルでは市民向けに公開講座が行われました。公開講座の参加者は地元市民約30名。私も宮下さんの通訳のもと、富山県のこと

や真生会富山病院のことを紹介してきました。講座後、参加された方が自分や家族の目の病気について館センター長に熱心に質問される姿に、日本の医療に対する信頼の厚さを目の当たりにしました。中国滞在中に驚いたことは、富山県に住む親戚の紹介で、中国の大連市からはるばる当院へ白内障手術を受けにいられた方との再会



通訳する宮下さん（前方左）と中村課長（前方右）

でした。館センター長が中国に来ていたことを知られ、感謝の気持ちを伝えたいと、探しておられたのです。この体験からも、日本は医療において大変恵まれた環境だということを実感しました。これは中国に来るたび、毎回思い知らされることです。

真生会では宮下さんを講師に、院内で職員対象の中国語勉強会を毎週行っています。中国から来られる患者さんに少しでも中国語でおもてなしがしたいの思いから始めました。中国滞在中に自分の話した中国語が現地の店員に通じたときはうれしかったですね。

昨年10月より、友好関係協定を結んだ瀋陽市第四人民医院から若手医師を迎え、当院で研修が行われています。今年10月からは3人目となる王先生が来られています。中国人の患者さんも口コミで増えていますので、渉外課で精一杯サポートしていきたいと思えます」

(終)

年々、患者数や患者予備軍が増えている糖尿病。当院でも、「糖尿病療養指導チーム」を中心に、治療にあたっています。今回は糖尿病に関する2つの話題を紹介します。

## 糖尿病サポーター養成講座

平成28年8月より、職員対象に糖尿病サポーター養成講座を始めました。糖尿病に対する知識を深め、早い段階から患者さんに関わり、サポートできるスタッフが一人でも多く増えるよう、全6回の講座で学びます。講師は医師、糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師、薬剤師、管理栄養士、検査技師、理学療法士、歯科衛生士など、多職種スタッフが務めています。

### (参加者の感想)

#### ■あやめ病棟

古川香代子 看護師

糖尿病網膜症の患者さんに対応する際、眼科的な関わりはできませんが内科的な関わりや指導が十分できていないと感じていました。

# 糖尿病診療

## をチームでサポートします！

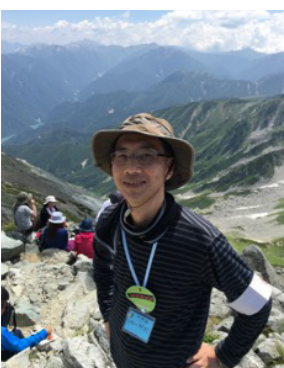


## 糖尿病サマーキャンプに同行

平成28年8月5日～7日、国立立山青少年自然の家で行われた富山DMサマーキャンプ（日本糖尿病協会富山支部主催）のスタッフとして、平谷和幸医師、宮本晴江看護師、中島真弓管理栄養士が参加しました。富山DMサマーキャンプは、小児糖尿病患者が同年代の仲間と共同生活を通して、自己管理の技術を取得することを目的に開催されている行事です。小児糖尿病患者とご家族、医療スタッフなどが参加しています。

昨年に引き続き同キャンプの実行委員を務めた中島管理栄養士に感想を聞きました。

「実行委員会にはベテラン医師、看護師の医療スタッフをはじめ糖

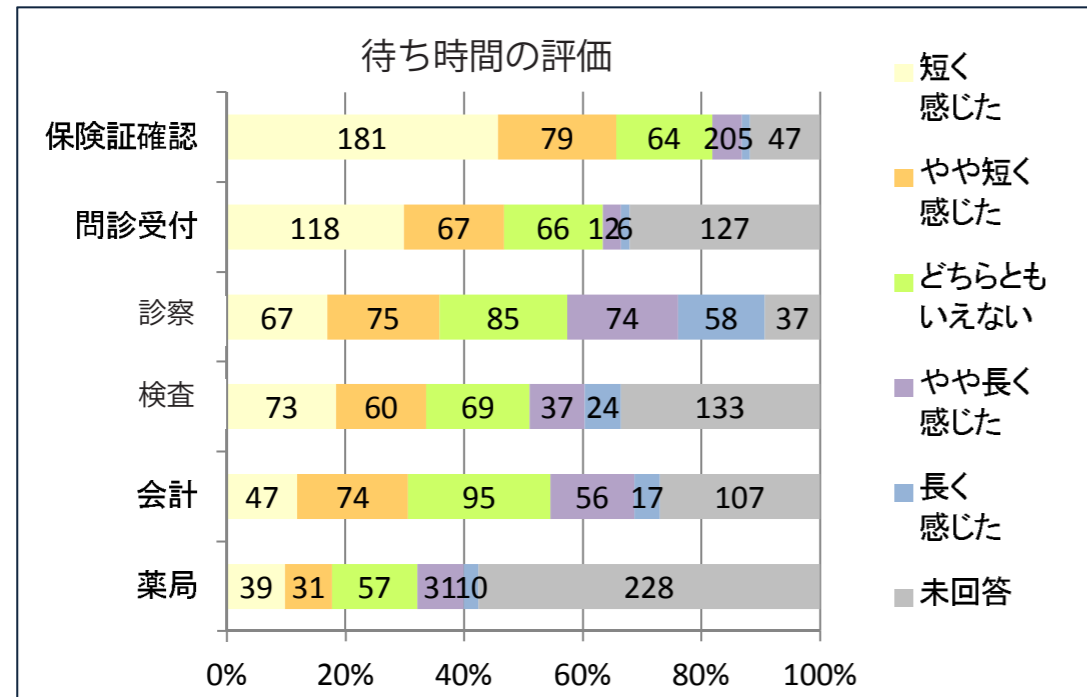


救護班として参加した平谷医師  
立山で記念撮影

尿病患者の父母、高校生やヤングOB・OG（1型糖尿病患者）など、さまざまな立場の方が参加し、楽しく安全なキャンプとなるようプログラム内容の検討を行います。キャンプ中、栄養士は低血糖時の補食の準備やカーボカウント（炭水化物の量を計算すること）がスムーズに行えるようサポートしました。今年、特に印象に残ったことは、父母懇談会で発症して間もない小児の親御さんが涙ながらに不安、悲しみを吐露されたことです。サマーキャンプは子供だけでなく保護者同士のコミュニケーションの場としても重要な役割を果たしていると感じ、サポートは医療者と患者だけでは完結せず、患者同士の繋がりを持たせることが、安心して療養生活を送るために大切なのだと感じました。

当院に患者会はありませんが、今後患者さん同士が繋がることのできる場を提供できればと考えています」(終)

回答者数：396名



保険証確認の待ち時間は、「短く感じた」「やや短く感じた」と答えられた方が約60%でした。診察の順番が来るまでの待ち時間は、「短く感じた」「やや短く感じた」と答えられた方と、「やや長く感じた」「長く感じた」と答えられた方の割合が同じくらいでした。待ち時間対策は「待ち時間対策チーム」を中心に、病院をあげて取り組んでおります。お気づきのことがありましたら、職員へお知らせください。

## 待ち時間調査でいただいたご意見とその回答

### 【ご意見】

せっかく検査予約しているにもかかわらず、検査までの待ち時間が長いと思う。(アイセンター)

### 【回答】

このたびは予約していただいたにも関わらず検査の待ち時間があつたとのこと、大変申し訳ございませんでした。現状は予約の方が最優先という共通認識のもと検査を進めておりますが、どうしても当日の外来状況によってはお待ちいただくケースがあり、ご迷惑をおかけしております。

待ち時間の問題はアイセンターの重点課題として挙がっており、毎月スタッフ間で協議しながら改善に向け、少しずつ前に進んでおります。今回のご指摘を真摯に受け止め、より一層予約システムの改善に努めてまいります。

### 【ご意見】

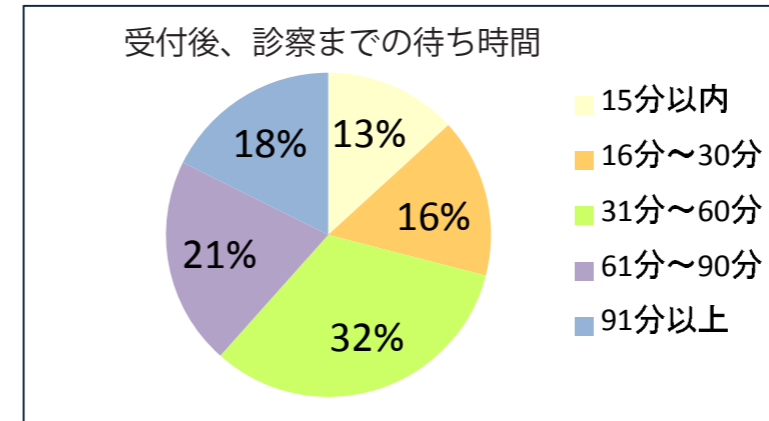
初診は必ず番号札をとるならそう書いて下さい。目の前で他の人が番号札をとられて順番をとばされた。不快です。

### 【回答】

案内不足で申し訳ありませんでした。当院を初めて受診される方は、総合受付で受付しておりますが、混雑時は番号札を取ってお待ちいただくことがあります。なお、現在では、診察券をお持ちの方であれば、受付は、総合受付にお越しただかなくても、受付機でできるようになっております。どうぞご利用ください。(保険証は、受付機で受付された後、総合受付で毎月確認しております。)

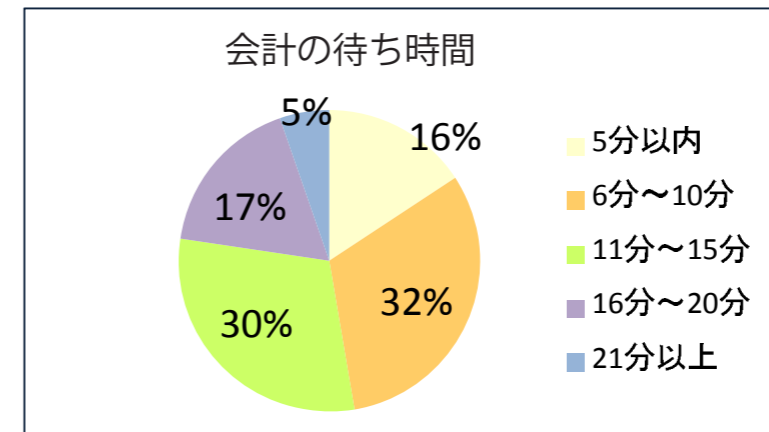
## 4、待ち時間の評価

調査人数：826名



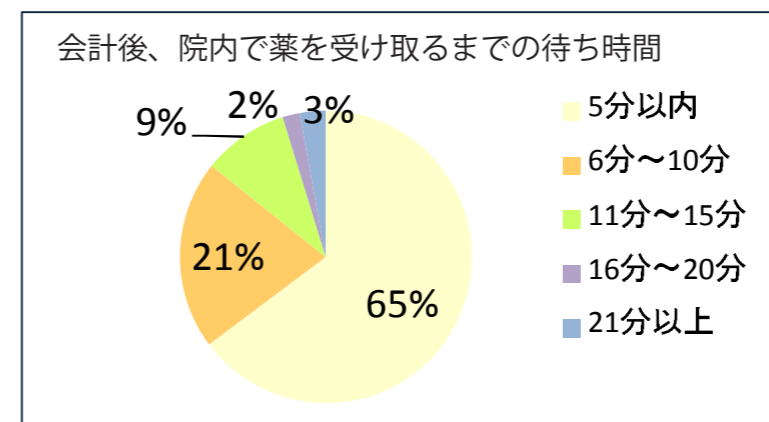
一番多かったのは、31分から60分まででした。待ち時間をできるだけ有効に過ごしていただけるよう、携帯電話でお呼び出しするサービスを行っております。各科受付にお問い合わせください。

調査人数：769名



一番多かったのは、6分から10分まででした。会計でお呼びして不在の場合は、会計横の画面に受付番号を表示しております。こちらもご確認ください。

調査人数：105名



会計後、院内で薬を受け取るまでの待ち時間は5分以内が最も多いという結果でしたが、調査人数が3日間あわせて105名と少なかつたため、実情と合わないケースも多いと考えられます。

## 1、診察

## 2、会計

## 3、薬局

# 外来待ち時間調査の結果

お知らせ

平成28年5月16日、17日、21日の3日間、外来患者さんを対象に待ち時間調査を行いました。延べ826人の方にご協力いただき、ありがとうございました。調査結果の一部を紹介いたします。全体の結果は、当院のホームページや院内設置のファイルで公開しております。今後の診療に活かし、改善につなげてまいります。



## 診療案内

### 診療科

内科、外科、小児科、整形外科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科、麻酔科、心療内科、精神科、神経内科、放射線科、泌尿器科、消化器内科、呼吸器内科、リハビリテーション科、腎臓内科、血液内科、循環器内科、糖尿病・代謝内科、緩和ケア内科、真生会デンタルクリニック（歯科）

### 受付・診療時間

【午前外来】 平日・土曜日

受付 8:00 ~ 11:30

（各科窓口 8:30 ~ 診察 9:00 ~）

※午前のみ、7:30 ~ 整理券を配布

正面玄関の解錠時間は 7:30 です。

診療時間以外は、時間外出入口をご利用ください。

【昼外来】 アイセンター（眼科）のみ

受付 13:30 ~ 16:00（診察 14:00 ~）

※火曜日のみのお受付です。

【夕方外来】 平日

受付 16:00 ~ 19:00

（各科窓口 16:30 ~ 診察 17:00 ~）

※内科・小児科を除き、火・木の夕方は休診のため日直医が対応いたします。

※皮膚科と小児科の窓口受付は 16:15 から、診察は 16:30 から行います。

※耳鼻咽喉科は 16:40 から診察を行います。

【休診日】 土曜日午後、日曜日、祝日

休診時間帯は、当番医師が待機しております。

敷地内全面禁煙を実施しています。



ご理解とご協力をお願いいたします。

一度は行きたい！

## 地元のお店



当院から車で5分以内の場所に  
あります

で作ったヘルシーな天ぷらと、インドカレーがセットになった「パコラセット」です。「パパド」という薄いエスニック揚げせんべいがライスの上に乗っていて、カレーと一緒にいただきます。（※パコラセットはライスに合うカレーを使用しているため、ライスが付いています）。その他、サラダとドリンクも

スパイス&カレー Galo（ガロ）  
「大学時代のアルバイト先がカレー屋さんだった」という店長の沙魚川修さんは、その頃から修行を重ね、平成27年に「スパイス&カレー Galo」をオープンしました。今回のおすすめは、「パコラ」というレンズ豆を粉にした衣



パコラセット 1,280円（税込）

### アクセス

【住所】  
富山県射水市赤井 397-1

【TEL】  
0766-52-5610

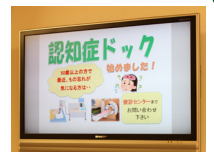
【営業時間】  
11:00 ~ 22:00  
（ラストオーダー 21:30）

【定休日】  
木曜日

付いたお得なセットです。セットメニューにはこの他にタンンドリーチキンセット（タンンドリーチキン、カレー、ライス、サラダ、ドリンク付で1,300円）があり、お店の一番人気だそうです。  
店内は、家族連れや女性の方にも気軽に利用していただけるよう、カフェ風の明るい内装にされたとのこと。ぜひ一度、お立ち寄りください。

### 編集後記

各科待合にある診察番号の表示画面では、番号の案内だけでなく、さまざまなお知らせも行っているのをご存じですか？待ち時間（6,7ページに関連記事）の有効活用になれば幸いです。「こんな情報もほしい！」といったアイデアがありましたら、お聞かせください。



画面を活用して認知症ドックをお知らせ

〒939-0243 富山県射水市下若 89-10

TEL 0766-52-2156 FAX 0766-52-2197

<http://www.shinseikai.jp/>

平成 28 年 11 月 第 22 号発行

発行・編集／真生会富山病院 広報課